

# コスモス 6月号

第71巻 第6号

◆宮柁ニカレンダー（51）六月の歌

流れつつわら藁も芥もあくた永遠に向ふがごとく水みづの面もにあり  
歌集『晩夏』

「梅雨どき」と題する十二首の三首目。詞書に、「戦争を起こしてはならないといふ希ひをよそに、六月二十五日新しい動乱が朝鮮に起った。その頃。」とある。朝鮮戦争が始まった昭和二十五年の歌。

平和への願い虚しく勃発した戦争に対し、無力な自身を水面のごみと重ねているのか。それらごみにも意思があり、能動的に流れていると捉えれば、「永遠」を希望と読むことができる。

いまだ戦争の絶えないこの時代に柁ニがいたら、何を思うのだろうか。  
(宮内博子)